

## カンボジアスタディツアー2017

8月7日（火）①

カンボジアスタディツアー6日目。今日は、障がいを持った子どもたちが暮らすMCブラザーズでのボランティア、そして孤児院「希望の家」での交流です。特に、希望の家での交流は本校のカンボジアスタディツアー始まって以来長く続いている恒例行事で、楽しみにしている生徒が多かったです。

午前中はMCブラザーズを訪れました。



床掃除と洗濯のグループに分かれて行いました。手で洗濯する経験は初めての生徒もいました。洗濯機のありがたみを実感します。水分を含んだ思い洗濯物を外に運び、次々に手際よく干していきます。MCの子どもたちも一生懸命手伝ってくれました。





床掃除、洗濯が一段落すると、MCの子どもたちに連れられて敷地内のごみ拾い。ごみを拾いながら、コミュニケーションを深めることができました。

続いて、敷地内の池のほとりにある東屋で、希望の家を運営しながら、日々MCでボランティアをしている菊地さんからお話を伺いました。菊地さんの信念とMCの現状などのお話はとても示唆に富んだ内容で生徒たちも多くのことを学んだように思います。

最後に、食事の介助を体験しました。子どもの食べるペースに合わせて、スプーンを口元に持っていくのは難しかったようですが、とても貴重な体験になりました。



②に続きます。